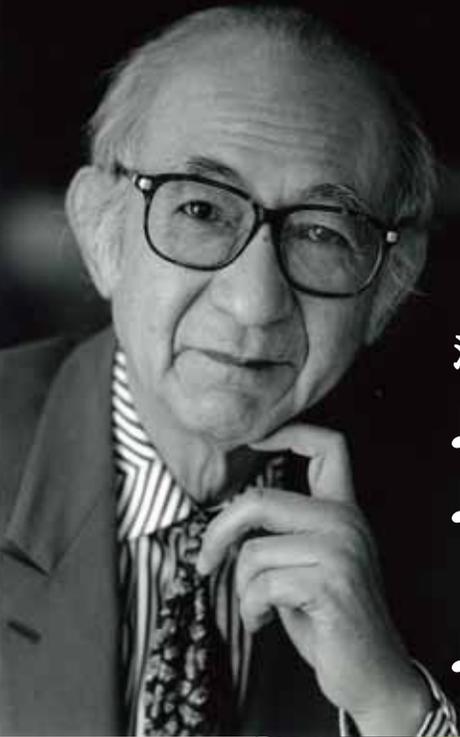


# と き ん ど 節人先生と 「いのちの響き」を

♪ 長岡京室内アンサンブル演奏会 in 生命誌研究館  
音楽監督 森悠子



## 演奏曲目

♪ ビーバー：パッサカリア ト短調

♪ モーツァルト：2つのヴァイオリンのための  
12の二重奏曲より

♪ ラヴェル：弦楽四重奏曲へ長調

「生命誌マンダラ」



森 悠子  
ヴァイオリン



石上真由子  
ヴァイオリン



長瀬大観  
ヴァイオリン



野澤 匠  
ヴィオラ



中島紗理  
チェロ



中村桂子  
(JT生命誌研究館館長)  
お話し

日時 2017年 6月3日(土) 15:00～ (開場 14:30)

会場 JT生命誌研究館 展示ホール(1階) ※要申込み

鑑賞無料(全席自由) 主催：JT生命誌研究館  
定員100名  
・申し込み方法はうら面をご覧ください。  
・未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

協力： NPO法人 音楽への道CEM

問合せ：JT生命誌研究館  
072-681-9796  
(平日の9時～16時)

D  
Z  
V  
Z  
L  
O  
P  
M  
E  
N  
T

五日楽は展開し  
生までもうの発生する

中村桂子

生命誌研究館の初代館長、岡田節人先生が本年1月17日朝、肺炎のため89歳で逝去されました。1991年に東京の虎の門にできた準備室で、楽しくてちょっとお洒落な知の場を創ろうと半分イタズラ子のような気分で研究館の具体的な姿を話し合ったのはついこの間のようでもあり、遠い昔のようでもあります。あれから四半世紀。「ここには、他とは違う豊かな空気が流れている」と多くの方が言って下さいます。この空気を生み出されたのが節人先生です。学問に対しては厳しく、けれどもその底には昆虫や音楽やゲーテを愛でる気持ちが流れていました。「数値でなくカンで決めよう」。選択はいつもそれでした。今もここに節人先生にしか生み出せない空気があります。これを大切に大切にしていきたいです。

演奏して下さるのは森悠子さんの下に集まる若者たちがつくる長岡京室内アンサンブルです。生きものが生れ、生れた生きものたちが関わり合いながら生きる姿を描いた「生命誌マンガラ」に共感し、音楽も楽曲を共有した人の中から生れる音の関わり合いが奏でますと言われました。

今日は、節人先生の空気を森さんたちの弦がいのちの響きにする特別の音が流れます。

中村 桂子

五日の命は  
どこから  
生れるのか？

森  
悠  
子

## Profile

・森 悠子 Mori Yuko Vn. / 長岡京室内アンサンブル 音楽監督  
教育哲学者・森昭の次女。6歳より才能教育でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、齋藤秀雄教授の助手を務めたのち、旧チェコスロバキア、フランスに留学。74年バイヤール室内管弦楽団入団。77～87年フランス国立新放送管弦楽団に在籍。89～96年リヨン国立高等音楽院助教授。90年京都フランス音楽アカデミーを創立。97年“若い音楽家の育成と実践の場”として長岡京室内アンサンブル設立。99～04年ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院教授。09年よりくらしき作陽大学音楽学部教授。フランス政府より91年芸術文化勲章「シュヴァリエ章」、03年同「オフィシエ章」授与。02年「京都府あけぼの賞」16年「第34回京都府文化賞功労賞」受賞。  
長岡京室内アンサンブルとして01年「エクソンモービル音楽賞・奨励賞」、03年「ABC音楽賞本賞」など、受賞多数。08年特定非営利活動法人音楽への道CEM設立、理事長に就任。著書に「ヴァイオリニスト 空に飛びたくて」(春秋社)がある。

・石上真由子 Ishigami Mayuko Vn.  
8歳の時にローマ国際音楽祭に招待される。高校2年生で第77回日本音楽コンクール第2位、併せて聴衆賞及びE・ナカミチ賞受賞。第7回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽部門第1位、全部門最優秀賞及びコンチェルトデビュー賞受賞。NHKFM名曲リサイタルやリサイタル・ノヴァに出演。NHKテレビではドキュメンタリーや大阪フィルハーモニーとの共演も放送された。東京交響楽団、京都市交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、ブラショフ国立交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団など、国内外の多数のオーケストラと共演。フォンテーヌブロー城などヨーロッパ各地でも演奏会に出演。ソロ活動と共に長岡京室内アンサンブルのメンバーとしても活躍。森悠子氏に師事。

・中村桂子 Nakamura Keiko 1936年東京生まれ。東京大学理学部卒。理学博士。三菱化成生命科学研究所、早稲田大学人間科学部教授などを経て、現在、JT生命誌研究館館長。生命誌の提唱者。著者に『自己創出する生命』『生命科学から生命誌へ』『科学者が人間であること』『小さな生きものたちの国で』ほか多数。

・長瀬大観 Nagase Hiroaki Vn.  
奈良県出身。5歳よりヴァイオリンを始める。2013年、東京・春・音楽祭に長岡京室内アンサンブルメンバーとして出演し、これ以降同楽団メンバー。16年倉敷G7教育大臣会合にてカルテットメンバーとして演奏。京都市立京都堀川音楽高等学校、くらしき作陽大学音楽学部を卒業。故石井純、故工藤千博、高木和弘、安紀ソリエール、森悠子の各氏に師事。

・野澤匠 Nozawa Takumi Va.  
兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部卒業。2014年から長岡京室内アンサンブルニューイヤーコンサートに出演。またG.プーレ、A.モッチア、A.ソリエール各氏(ヴァイオリン)、D.キグル氏(ヴィオラ)など多数のマスタークラス受講。ヴァイオリンを玉井洋子、折川真理、木田雅子、大谷玲子、沼田園子、玉井葉採の各氏に、ヴィオラを市坪俊彦氏に、室内楽を森悠子氏に師事。現在、東京芸術大学大学院修士課程在学中。

・中島紗理 Nakajima Sari Vc.  
相愛大学音楽学部卒業。同大学音楽専攻科修了。修了演奏会に出演。在学中、齋藤秀雄奨学金を授与される。京都フランス音楽アカデミーにてフィリップ・ミュレル氏のマスタークラスを受講。「キャパシティビルディング in Paris」にて森悠子、安紀ソリエール、ラファエル・ベル諸氏のレッスンを受講。その他、国内外の講習会に多数参加。また室内楽では、長岡京室内アンサンブル結成15周年記念公演。長岡京室内アンサンブル定期演奏会に出演。現在、関西を拠点にフリー演奏者としてソロ、室内楽、オーケストラ等で活動している。これまでにチェロを齋藤建寛、山本彩子、佐藤慎の諸氏に師事。また室内楽を森悠子氏に師事。

### <お申し込み方法>

※事前のお申し込みが必要です。  
お申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。  
抽選結果のお知らせは、鑑賞券の発送をもってかえさせていただきます。  
※鑑賞券は、5月9日(火)以降に発送します。

お申し込みは、以下の2通りで受け付けています。

- 1) ホームページのフォームよりお申し込み下さい。  
<http://www.brh.co.jp/event/others/>
- 2) 右の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申し込み下さい。

FAX : 072-681-9744

締め切り: 5月8日(月) 必着

※当日は、必ず鑑賞券をお持ち下さい。  
お問い合わせ: Tel:072-681-9796 (平日9時～16時)

### 参加申込書 (ほり取らず、そのままFAXして下さい。)

住所(代表者)	
〒 .....	
氏名(代表者)	電話番号(代表者)
同行者氏名(代表者含め最大3名まで)	

※記入頂いた個人情報は、応募処理、鑑賞券の発送等に使用します。



## JT生命誌研究館

〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1  
開館時間 10:00～16:30 入館無料  
休館日 毎週日曜日と月曜日/年末年始(12月29日～翌年の1月4日)  
ただし準備等のため臨時休館する場合があります。  
交通 JR京都線高槻駅より徒歩10分/阪急京都線高槻市駅より徒歩18分  
JRのご利用が便利です。